

市民と市役所が

# ツナガル通信

発行日：平成 29 年 1 月 23 日

発行元：ESD・市民協働推進センター

岡山市役所本庁舎 2 階（月～金、9:00～17:00）

TEL：086-803-1062/070-5055-7589



## Contents

- >> 第一回おかやま協働のまちづくり賞
- >> 課題解決ワークショップの報告
- >> 平成 28 年度市民協働推進モデル事業  
ご紹介 Vol. 5

Vol. 20

### 第一回おかやま協働のまちづくり賞 最終審査&表彰式を開催します！

「岡山市協働のまちづくり条例」改正施行一周年記念の市民協働フォーラムとして「第一回おかやま協働のまちづくり賞 最終審査&表彰式」を 2 月 19 日（日）に開催します。第 1 回目となるおかやま協働のまちづくり賞に 1300 件を超えるインターネット投票と、審査員による書類選考が終了し、エントリーくださった全 20 の取組からファイナリストとして以下の 5 つの取組が選ばれました。市内の素晴らしい協働の事例を聞き、ぜひ当日会場で「熱意」にふれ、「工夫」に学び、「成果」を称え、一緒に岡山市の「協働のこれから」を感じませんか。

また、この 1 年間で岡山市の協働施策はどう進んだか？の報告もします。多くのご参加をお待ちしております！

日 時	平成 29 年 2 月 19 日（日）13:30～16:30（参加無料／定員 150 名）
場 所	Junko Fukutake Hall（岡山市北区鹿田町二丁目 5-1）
ファイナリスト 5 つの取組と 代表団体	「さいさい子ども食堂」さいさいサポーター
	「宇野学区放課後宿題教室」宇野小学校放課後子ども教室実行委員会
	「キッズフェスティバル」NPO 法人岡山市子どもセンター
	「病気の子どもたちが安心できる居場所づくり」NPO 法人ポケットサポート
	「耕作放棄地を活用した笑顔あふれる地域交流の場づくり」よこいゆめくらぶ

### 持続可能な岡山市のための課題解決ワークショップを開催しました！

今回は平成 29 年度の市民協働推進モデル事業に向けて、4 つのテーマのうち 3 つが行政提案課題で開催されました。テーマについてより深く議論ができるよう、NPO 法人をはじめ関連団体や関係者の方に多くお集り頂き、課題の構造分析などを行いました。ESD・市民協働推進センターは、引き続き 4 提案元をサポートしていきます。

テーマ	提案元
新しい文化芸術施設を、「集い」「生み出す」ことのできる「文化芸術創造拠点」にしていくために	岡山市文化振興課
若者の政治参画を進めるために	岡山市選挙管理委員会
里親委託を推進するための里親制度の普及啓発及び委託促進	岡山市こども総合相談所
「人々が関わることで育まれる都市の森」を実現するために今私たちができること	くらしのたね(任意団体)
開催日時・会場	平成 28 年 12 月 19 日（月）13:30～16:30 会場：岡山市役所 7 階大会議室
参加者	58 名（NPO 等 11 名、行政職員 17 名、大学生・学校関係者 7 名、施設職員等その他 15 名、事務局 8 名）
参加者満足度	76.2 点
アンケートからの感想の抜粋	（良かった点）「ちょっと難しかったが色々考えることができよかった。芸術の人どうして話すことがこれまであまりなかった」「様々なジャンルの人と討論できる機会は有難い」 （印象的な言葉）「指定管理者の要件に市民とのコミュニケーションを入れる」「市民自身による公園運営」「意識の高い一部の若者だけではなく全体にどう働きかけていくかの難しさ、普段、日常からの地道な教育の大切さ」「子ども中心に考えて本当に出来ているのか」 （改善点）「意見が広がりすぎ、深い話になりにくかった」「時間が足りなかった」

岡山市各課と市民（NPO法人、市民活動団体等）が共通の目標達成に向けて、力を合わせて市内の課題解決に取り組む「市民協働推進モデル事業」の平成28年度採択事業の取り組みをご紹介します。

### 『精神障がい者家族ピアサポーター事業』

#### 特定非営利活動法人岡山県精神障害者家族会連合会 × 岡山市こころの健康センター

ピア（peer）とは仲間、同僚という意味で、同じ問題を抱える者が仲間の立場で支援することをピアサポートといます。この事業は、精神に障がいを持つ当事者を抱え混乱している家族が、家族ピアサポーターとの語らいの中で、そのつらさを分かち合い、孤立防止を図り、家族の力を高める、また病状的には退院出来るにも関わらず、家族の理解が得られないために精神科病院に長期入院を余儀なくされている人の地域移行や、再入院を防ぐための地域定着の一助となるべく、精神障がい者家族ほっとライン（週1回）、ほっとサロン（月1回）、家族相談（随時）の活動や、ピアサポーター養成講座、スキルアップ講座を行っています。

家族会が行っていた広報では周知される先が限定的であり、切実に話し相手、相談相手を探している家族に情報が行き渡っていませんでしたが、協働により、行政からこれらの人々への情報提供が行われたり、新聞記事に取り上げられたりし、より広い層および当事者を抱える家族への支援に繋がっています。家族ピアサポーターが障がい当事者の家族への共感性の高い支援を行うことにより、行政が行う当事者支援を側面的に支えることができる支援を継続していくことを目指しています。

岡山県精神障害者家族会連合会ホームページ <http://okayama-kenkaren.jp/>

### 協働のすすめ～岡山市職員インタビュー～

岡山市こころの健康センター 土器 悦子さん



#### Q1：協働団体に求める役割や期待することはなんですか？

家族という同じ立場での支援は相談の敷居を低くし有効と考えています。そのため以前から家族ピアサポーターの役割は重要と考えていました。しかし、行政が会う精神障害者家族には限りがあるため、行政だけで事業を始めるには人材の確保の面からも困難と考えていました。今回この事業を活用して家族会と協働することで、家族会の中の豊富な人材を活用して家族ピアサポーターを育成できるのではないかと期待しています。

#### Q2：協働を通じて、どのような成果がうまれていますか？

家族学習会や養成講座の受講を終了し、今年度新たに家族ピアサポーターとして登録された方が2名います。今後はその方たちが家族ピアサポーターとしての活動を開始していくこととなります。地域で家族の精神障害に悩み、苦しみ、さらに地域で孤立し、疲弊していく家族が、同じ家族という立場の相談員に話を聞いてもらい、共感を得ることで気持ちが楽になり、エンパワメントできていると思います。現在は今年度の養成が終わったばかりで、まだ活動は開始されていませんが、家族ピアサポーターとして活躍を期待しています。

#### Q3：よりよい協働の実践に向けて今後の展望を教えてください。

今後より多くの家族が家族ピアサポーターとしての研修を受け、活動を広げていってくれたらと思っています。そして、家族ピアサポーターの活動が、相談支援に留まらず、未だ根強く残っている精神障害者に対する差別・偏見の解消に向けて、自らの体験を語る等、体験者としての活動を期待しています。

### お知らせ

#### ●平成29年度「市民協働推進モデル事業」の募集を開始しました。

岡山市における社会課題の解決を市民と行政の協働の手法によってすすめるために、協働によってより効果的に課題解決がすすむ事業を公募し、一般行政施策化のモデルとして協働での実施を行います。

募集締切：平成29年2月20日（月） ご相談は ESD・市民協働推進センターまで。

詳細は「つながる協働ひろば」をご覧ください。 <http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/pages/10099>